



# 支社に対し現場とのキャッチボールを求める

## 申1号・2018年度「冬期の取組み」に対する申し入れ 団体交渉終了！

新潟地本は11月21日、申1号・2018年度「冬期の取組み」に対する申し入れの団体交渉を行いました。10月10日に支社側より提案を受けた「2018年度 冬期の取組み」に対して、より確実かつ効果的な対策を講じることで、より安全で安定した冬期輸送を実現するために、団体交渉に臨みました。

### 簡易型乗用除雪機械「とらん丸」について

- 「とらん丸」の納入は11月30日から12月1日の予定。実車が届き次第教育を行う。教育はメーカーから行ってもらう。必ずしも全員でなく、水平展開で考えている。
- 構内除雪は車両センター・運輸区・駅が、本線での救援は保線技術センターが取り扱う。
- 教育の日程、留置場所、駅間で動かなくなった時の救援方法、保線技術センター社員とNTS社員の打合せ方など、現時点でも未定や不明な点が多いことが明らかになった。

### 安全・安定運行の確保について

- MRでの除雪後に営業列車の運転まで間隔が空く場合には、積雪防止のために回送列車を走らせる可能性はあるが、除雪を目的に走らせることはない。
- ポイント不転時に乗務員に除雪させないよう求めたものの、状況を見に行ってもらうことは発生しないとは言えないとして明確な回答は示さず。
  - 上沼垂信号場や岩船町駅など昨冬にポイント不転が発生した箇所対策について、設備に不具合があったものについては改修、既に設置済みの箇所については現状のまま。
  - 越後湯沢エリアセンター管内の除雪体制は現在未定。冬期前を目途として確定する。



### 冬期要員の考え方について

- 越後湯沢駅の冬期要員（営業）の運用期間は昨年の利用状況を分析し総合的に見ているとして、3月末日までとすることを否定。また、公募制で異動する社員も要員数に組み込まれ、標準数を上回った場合はその人数が冬期要員3名から除かれるとした。
- 上沼垂信号場の泊り勤務体制は、夜間は1人で何かあれば寝ている人を起こすことが所定の姿であり、冬期において毎日専ら対応する作業が無いことから2名体制とはしないと回答。



冬期を目前とした現時点においても、未定であったり曖昧であったりする点が多く、施策を担う現場とのキャッチボールをしっかりと行うよう強く求めました。

## 職場からの声で冬期の安全・安定輸送を実現しよう！